第22回

since 2002

「花」秋山庄太郎 写真コンテスト NEWS

Autumn,2026

本コンテストは、2002 年、「写真芸術振興」と「福祉支援」を理念に、写真家 秋山庄太郎によって創始されました。
グランプリ・特選 10作品は、秋山庄太郎作品とともに、福祉施設や福祉活動に携わっている団体などに寄贈されます。

グランプリ（秋山庄太郎賞）



「濃霧の出会い」若林 弘勝（埼玉県）



秋山 庄太郎（あきやま・しょうたろう）1920-2003
昭和・平成を代表する女優ポートレートを数多く撮影。「美しきをより美しく」、「アマチュア畏（おそ）るべし」を信条とし、写真芸術としての「花」をライフワークとする。紫綬褒章・旭日小綬章受章。

【審査講評】

果てしなく広がる色彩と想像力

今回はこれまで以上に作品のレベルが上がっており、特にプリントの質が向上し、機材の不調等によって汚れが目立つ作品も減り、落ち着いた色合いが増え、色彩も多様化していました。

一方で、光の量や当たり方にやや難がある作品も見られました。例えば、黒バックの作品の場合、被写体となる花に充分に光が当たらないと、沈んだような写り方になってしまいがちです。

グランプリ「濃霧の出会い」は、本コンテストでこれまであまり見られなかったタイプの風景系の作品です。構図が大変魅力的で、作者が「標高約 582m美の山（みのやま）山頂は濃い霧の中。ツツジは一段と艶やかでした」とコメントしていますが、天候を味方につけた濃霧の幻想的な背景により、前面のヤマツツジの赤がより鮮明に色鮮やかに引き立って見えます。何度も撮影地に足を運ばれたのでしょう。運や感覚だけに頼ったのではない、撮れそうで撮れない作品です。生け花的な発想を大事にした秋山庄太郎は、屋外の花写真では大自然を花器に見立てた撮影を嗜好しましたが、本作はその美学を想起させ、物語性も感じさせます。

特選9作品も、個性的で丁寧に撮影された作品ぞろいで、寄贈先に喜んでいただけると思います。

ユース賞「真っ赤に燃える太陽の子供達」は、ケシの花が本当に暖かい光を放っているような、想像力を刺激する作品です。

今回は若い世代の入賞者が増えており、今後も幅広い世代が集うコンテストになって欲しいと願っています。

秋山庄太郎「花」写真コンテスト審査委員会

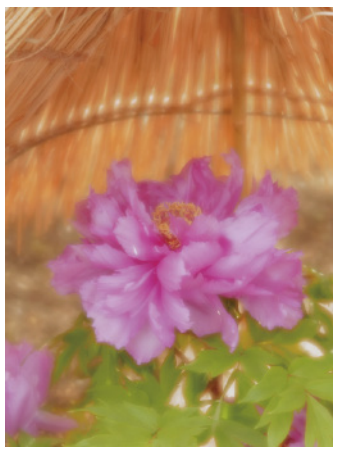
特選



「バラ色」遠山 薫（北海道）



「幽谷の佳人」川崎 之子（福島県）



「優雅に座る寒ぼたん」水澤 清治（東京都）



「時の光と風」関根 啓（新潟県）



「紫舞う」八幡 雄紀子（新潟県）



「優雅」松下 恭代（静岡県）



「花便り―絵手紙風」西本 正明（大阪府）



「可憐に咲く」赤堀 泰一郎（岡山県）



「小さな円卓」谷野 和恵（山口県）

〈募集期間〉
2026年4月1日～6月15日

〈主催〉
秋山庄太郎「花」写真コンテスト実行委員会

〈協賛〉
カメラのキタムラ、秋山庄太郎写真芸術館
株式会社 秋山写真工房、有限会社 イマジン・アートプランニング、OMデジタルソリューションズ株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社スリーノーマン、ソニーマーケティング株式会社、株式会社第一印刷、株式会社ニコンイメージングジャパン、ハクバ写真産業株式会社、ピアノデュオ花コン応援団（齋藤康子、別府直子）、パナソニック マーケティングジャパン株式会社、富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、リコーイメージング株式会社

〈後援〉
一般社団法人日本フォトコンテスト協会、秋山庄太郎写真芸術協会

〈運営協力〉
秋山庄太郎記念芸術文化振興協会

〈審査委員〉
坂井田 富三　写真家／日本写真家協会（JPS）会員
小池 徹郎　エディター／元・学研編集部長
小林 健三　グラフィックデザイナー
舘 弘美　フォトアーティスト／秋山庄太郎写真芸術協会講師
鹿島 千香子　フォトプロデューサー（秋山写真工房）
田中 未来　フォトグラファー／新潟県美術家連盟写真部常務理事

〈実行委員〉
佐藤 卓　カメラのキタムラ
中村 由利子　作曲家・ピアニスト
大山 宏　秋山庄太郎著作権等管理委員会代表理事
髙辻 謙正　写真家／秋山写真工房相談役
岡 典子　写真家／秋山庄太郎写真芸術協会理事
上野 正人　キュレーター／秋山庄太郎写真芸術館館長
秋山 啓佑　学芸員／秋山庄太郎メモリアルプロジェクト

入賞作品展

会期中入館無料

【会　　期】2026 年 10/11（日）～ 11/3（火・祝）
金・土・日・祝日開館
【会　　場】秋山庄太郎写真芸術館（東京都港区南青山 4-18-9）
第1展示室
【時　　間】11：00～16：30（入館 16:00 まで）
【展示作品】グランプリ・特選・準特選 計 50 作品

※入選 50 作品は館内ディスプレイのスライドショーにてご紹介させていただく予定です。

※感染症の流行状況等により予定を変更する場合があります。最新の情報は秋山庄太郎写真芸術館ホームページをご覧ください。
（https://akiyama-shotaro-hp.onamaeweb.jp/）

準特選

（ユース賞は応募時点で 18 歳以下の方の優れた作品に贈られます）



「LOVE」
平山 幹子（北海道）



「水中花」
貝沼 正雄（北海道）



「流れの中で」
藤原 輝也（北海道）



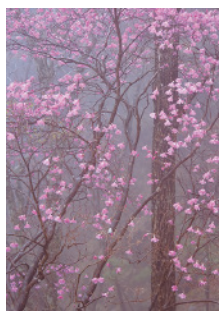
ユース賞
「真っ赤に燃える太陽の子供達」
小川 七斗（宮城県）



「夕の茜」
勝山 輝夫（福島県）



「雨に香る」
佐藤 眞吾（福島県）



「霧に包まれて」
山本 健（茨城県）



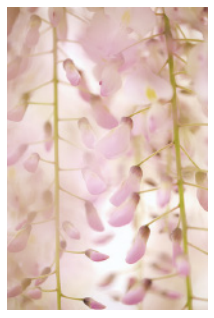
「春のよろこび」
川田 武男（栃木県）



「陶に、もたれ咲く」
和田 仁明（栃木県）



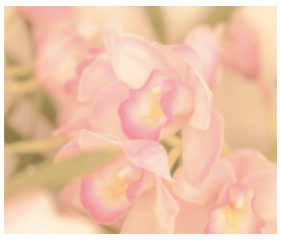
「春の妖精」
木村 一郎（群馬県）



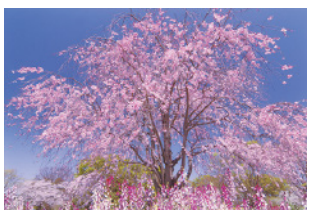
「香りに包まれて」
石綿 良全（埼玉県）



「健気に咲く」
岡田 充（埼玉県）



「夢みる想い」
住 由子（埼玉県）



「花の宴」
巻島 秀男（埼玉県）



「高原の夏」
北川 浩司（千葉県）



「麗人の集い」
髙澤 一（千葉県）



「粋美」
吉田 薫（千葉県）



「煌めき」
阿部 雅彦（東京都）



「草原の青い星」
伊藤 美保子（東京都）



「彩」
落合 俊哉（東京都）



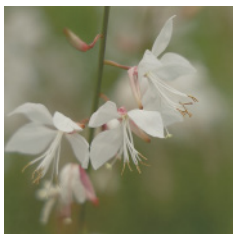
「春の序章」
髙村 豊明（東京都）



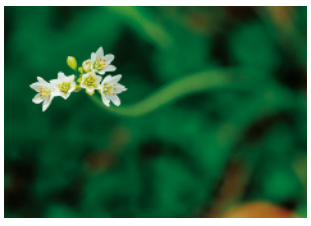
「よりそひて」
吉田 慶作（東京都）



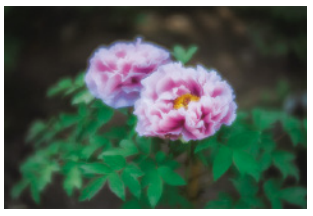
「相和して美」
河嶋 芳子（神奈川県）



「天女の舞」
黒田 立夫（神奈川県）



「のび〜る」
原 和仁（神奈川県）



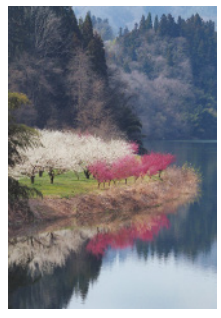
「富貴花」
横田 晴雄（神奈川県）



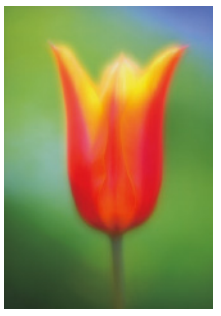
「私の出番」
西村 欣一（新潟県）



「青のひとしずく」
木倉 めぐみ（長野県）



「静寂の色彩」
古賀 さつき（長野県）



「光の杯」
古牧 佑敏（長野県）



「春景」
佐々木 雅江（長野県）



「薄紅の夢」
清水 清一（長野県）



「濡れて輝く」
関川 秀孝（長野県）



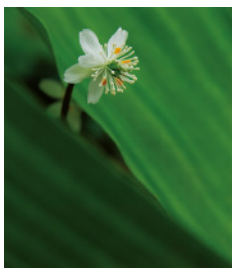
「宇宙」
宮﨑 美香（大阪府）



「春らんまん」
喜多 昌弘（徳島県）



「星花をあなたへ」
道土井 友子（愛媛県）



「白い妖精」
吉川 航太（愛媛県）



「せいぞろい」
谷口 八十美（高知県）



「静寂」
都城 正樹（福岡県）



「ハーモニー」
守田 宣昭（福岡県）

入選

※作品は秋山庄太郎写真芸術館ホームページ（https://akiyama-shotaro-hp.onamaeweb.jp/）でご覧いただけます

長尾　香	（北海道）	持田 慎一	（栃木県）	渡邉 美恵子	（新潟県）	山田 章雄	（静岡県）	西本 由利	（大阪府）
田澤 米子	（北海道）	木下 正夫	（群馬県）	岩垂　誠	（長野県）	青山 厚子	（愛知県）	雪本 信彰	（岡山県）
中谷　彰	（北海道）	西澤 政好	（埼玉県）	植木　勤	（長野県）	伊藤 秀夫	（愛知県）	河角 友博	（広島県）
大川 伴子	（青森県）	市川 正明	（千葉県）	大久保 富美江	（長野県）	金山 伊四治	（愛知県）	福間 智美	（広島県）
福井 弘文	（宮城県）	中野 愛美	（千葉県）	柿澤 良江	（長野県）	柴田 康正	（愛知県）	大西 展子	（福岡県）
赤城 壮祐	（山形県）	鈴木 照男	（東京都）	古賀 照章	（長野県）	中村 燈花	（愛知県）	樋口 洋光	（福岡県）
齋藤 勝美	（山形県）	幅　周一	（東京都）	広瀬 邦仁	（長野県）	古田 千穂	（愛知県）	後藤 ゆかり	（大分県）
高橋 俊二	（山形県）	阿部 姫恵華	（神奈川県）	竹岡 正行	（岐阜県）	細田　浩	（愛知県）	櫻井 洋一	（宮崎県）
遠藤 康彦	（福島県）	佐藤 隆之	（神奈川県）	伊藤　毅	（静岡県）	川西 絢子	（三重県）	豊島 ななみ	（沖縄県）
西山　栄	（福島県）	目黒 綾子	（新潟県）	村松　忍	（静岡県）	奥谷　裕	（大阪府）	名嘉眞 來美	（沖縄県）

実行委員会より

・入賞者最高齢 91 歳、最年少 16 歳、ベテランから若い方まで、「花」というテーマをさまざまな視点からとらえた作品に多く出会えたことを嬉しく思います。１点１点の作品から物語も伝わってきました。魅力的な作品をたくさんご応募いただき感謝申し上げます。

・前回（第 21 回）の秋山庄太郎「花」写真コンテストのグランプリ・特選作品は、秋山庄太郎額装作品とともに、下記に寄贈させていただきました。

特定非営利活動法人 LaMano クラフト工房 LaMano（東京都町田市）
神奈川県立金沢支援学校（神奈川県横浜市）

代表委員 佐藤 卓（カメラのキタムラ）

※各賞中の作者、企業、団体委員等の敬称は略し、作品とも順不同で掲載させていただきました。
※印刷の都合により、実際の作品の色味とは異なる場合がありますことをご了承ください。
※次回（第 23 回）実施については、決まり次第、秋山庄太郎写真芸術館ホームページ等でお知らせいたします。

発行／秋山庄太郎「花」写真コンテスト実行委員会 ©
〒107-0062 東京都港区南青山 4-18-8-101
☎ 03-5772-9558